

## 那賀川(二期)農地防災事業 今津幹線水路水質改善施設建設工事

本地区は徳島県南東部に位置し、水稻を中心にブロッコリー、キュウリ等を組み合わせた複合経営が展開されています。一方都市化の進行により生活雑排水が水路に流入し農業用水の水質悪化が問題となっており、開水路の改修・パイプライン化・水質改善施設の新設等による事業が進められています。

本工事は、今津幹線水路のかんがい初期の汚濁水を一旦貯蔵して水質を改善する施設として、容量8,300m<sup>3</sup>の貯水池を新設する工事で、水密性の高い構造であるコンクリート底版遮水工法で施工します。

現場周辺では、工事期間中も水稻作が行われているので営農に十分配慮しながら工事を進める必要があり、農業関係者、その他関係機関の方々とのコミュニケーションを大切にして工事を進めていきます。また、現場は透水性の高い土質で、地下水位が高く湧水量も多いため、工期内完成を目指すには、綿密な排水計画と施工順序（工程管理）が重要となります。令和2年3月中旬に流入工・放流工が完了し、4月より水質改善施設の掘削・堤体法面工を進めています。工期も令和3年1月中旬までですが、最後まで作業所一丸となって安全管理を徹底し無事故・無災害で工事を竣工させるよう努めてまいります。



### 監督職員からのエール

本工事は、かんがい初期の農業用水の水質改善を目的として容量8,300m<sup>3</sup>の貯水池他を整備する工事です。本施設に関する幹線水路は地域の排水路としての機能も担っており、降雨時の排水には十分注意が必要です。また、工事現場付近には、特別養護施設、民家が隣接していることもあり、粉塵、騒音・振動への気遣いも求められる工事現場です。

現場代理人の福谷さんは、このような条件下において、監督員と意思疎通を図り、現場管理を行うと伴に、現場条件の変化や地元対応にも適切な対応をして頂いています。

工事もほぼ半ばとなりましたが、まだ、貯水池の掘削、法面工及び底版コンクリート工と主要な工種が続きます。これまで、無事故無災害で工事を進めてきましたので、引き続き残りの工事も安全管理に留意を頂き、工事の完成を期待しています。

#### 監督職員

(写真右) 中国四国農政局那賀川農地防災事業所  
工事第一課長 三浦 忠治

#### 現場代理人

(写真左) アイサワ工業株式会社 四国支店  
今津幹線作業所 福谷 隆行

